

## 第1学年 社会科学習指導案「アフリカ州 ―特定の生産品にたよる生活からの変化―」

1年1組 31名（男子15名・女子16名）@1年1組教室 授業者：櫛山 由希子

### <社会科における「主体的・対話的で深い学び」の姿>

- ・主体的 : 生徒自らが課題を把握し、その課題の解決に向けた方策を考え、その学びに向かう姿。
- ・対話的 : 生徒同士の協議、教師や専門家との対話、地図や年表資料をじっくりと読み込む等の活動を通して自己の考えを広げる姿。
- ・深い学び : 「社会的な見方・考え方」を用いた考察、構想や説明議論等の学習活動を行う中で、社会的事象の特色や意味、概念などを総合的に思考・判断し汎用的に使うことができる姿。

### <単元のねらい>

アフリカ州諸国が、気候や地形を利用して先進国と結び付いて企業的農業のモノカルチャー経済下で先進国の豊かさを支える一方で、独自の経済発展をとげたことが分かる。また、日本が支援を行っていることを知り、自分にもできそうなことを考えることができる。

#### 【社会的な思考・判断・表現】

- ・アフリカ州の国々の他国への依存から脱却が進められてきた過程について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。

#### 【資料活用の技能】

- ・アフリカ州の地域的特色について有用な情報手段を活用して収集し、読み取ったり、図表にまとめたりしている。

#### 【社会的事象についての知識・理解】

- ・アフリカ州について、広大な自然環境、古い歴史と伝統的な文化、農業や鉱業を中心とした産業などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解し、その知識を身に付けている。

### <単元指導計画（ねらいと評価規準）>

時	ねらい	評価規準
1 関	アフリカ州に関わる資料の読み取りから、自然の残る環境で、人々が昔ながらの生活を送っている様子に気づき、アフリカ州への興味・関心を高めることができる。	アフリカ州の自然環境、産業、生活、文化、歴史的背景などの特色について興味関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。
2 知	雨温図や降水量の分布図から、アフリカ州の気候の特徴を読み取り、アフリカ州の輸出品のグラフから他の地域と違う点を明らかにすることができる。	アフリカ州の気候の様子を資料から読み取り、資源に偏っている輸出品の特徴を理解し、その知識を身に付けている。
3 技	アフリカ州の産業の特色を、鉱山資源の産出地と関連付けて、資料から読み取り、アフリカ州の産業の特色を理解することができる。	アフリカ州の産業の特色を、気候や地形と関連付けて、資料から読み取ったり、図表などにまとめたりしている。
4 思	アフリカ州の農業の様子を読み取り、植民地時代の名残があること、そして商品作物の生産で経済を成り立たせていることに気づき、鉱業・農業ともに技術のないからこそモノカルチャー経済から抜け出せずにいることを考えられる。	アフリカ州の農業が商品作物の栽培中心で、鉱業・農業ともにモノカルチャー経済から抜け出せずにいることを多面的・多角的に考察し、その過程を適切に表現している。
5 思 【本時】	タンザニアは、モノカルチャー経済に依存していることから不安定な収入になっていることに気づき、インスタントコーヒーとして製品化した理由を考えることを通して歴史的背景や雇用拡大などに触れ、国が自立に向かって歩もうとしていることを考えることができる。	原材料ではなく、製品の輸出をした理由を多面的・多角的に考え、仲間との交流を通して、自分の言葉でまとめることができる。
6 知	これまでの学習を元にして、アフリカ州の発展にはいくつもの課題があることを知り、そのためにアフリカ州や日本が行っている努力を理解することができる。また、自分にできることは何か考えることができる。	これまでの学習を活かし、アフリカ州が抱える課題の原因を理解し、アフリカ州の発展に協力する意味を考えて、自分に何ができるか考えることができる。

＜本時のねらい＞

タンザニアは、モノカルチャー経済に依存していることから不安定な収入になっていることに気付き、インスタントコーヒーとして製品化した理由を考えることを通して歴史的背景や雇用拡大などに触れ、国が自立に向かって歩もうとしていることを考えることができる。

＜本時の展開＞ (本時の位置 5 / 6)

過程	学 習 活 動	研究内容2に関わる指導・援助 資料 (□)			
導入 5分	<p>＜課題提示＞</p> <p>① 原材料のままの状態と製品化したときのコスト（人件費等）の違いから課題化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料のままの方が楽なのに何で製品にしたんだろう。</li> <li>・製品にするのってたくさんのお金と人の力が必要なんだな。</li> </ul>	<p>＜① 課題提示まで＞</p> <p>□インスタントコーヒー（実物）</p> <p>□コーヒー豆（実物）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モノカルチャー経済の復習をして、前時の学習内容を確認する。</li> <li>・インスタントコーヒーの実物から簡単においしいコーヒーが飲めることを理解させる。</li> </ul>			
予想 3分	<p>なぜタンザニアでは、原材料ではなく、製品化して輸出したのだろうか。</p>				
個人 追究 7分	<p>＜課題追究＞</p> <p>② 予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メリットが何かあるんだと思う。</li> <li>・最初はお金がかかるけれど、後から儲けが出てくるのかな。</li> </ul> <p>③ 資料から個人で課題を追究する。</p>	<p>＜③ 個人追究＞</p> <p>□コーヒープランテーションで働く人々の状況</p> <p>□T社のインスタントコーヒー</p> <p>□アフリカの歴史</p> <p>□タンザニア大使の推薦状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から、個人で追究する時間を十分に確保して、自分の考えをもてるようにする。</li> <li>・机間指導をして、それぞれの視点から読み取れるよう声かけをする。</li> </ul>			
グル ープ 交流 10分	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;"> <p>【歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの植民地だったから、モノカルチャーが根付いている。</li> <li>・ヨーロッパにコーヒーの生豆が安価で輸出しているのに、ヨーロッパからインスタントコーヒーを高価で輸入している。</li> </ul> </td> <td style="width: 33%;"> <p>【大使の夢】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大統領の思いを実行している。</li> <li>・手作業で行っていて、品質や味に自信がある。</li> <li>・コーヒー栽培に適した自然条件がそろっている。</li> </ul> </td> <td style="width: 33%;"> <p>【製品化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・価格が安定する。（価格変動を抑えるため。）</li> <li>・原材料を輸出するより、製品を輸出した方が儲かる。</li> <li>・働く場所が多くなる。→雇用の拡大</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>【歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの植民地だったから、モノカルチャーが根付いている。</li> <li>・ヨーロッパにコーヒーの生豆が安価で輸出しているのに、ヨーロッパからインスタントコーヒーを高価で輸入している。</li> </ul>	<p>【大使の夢】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大統領の思いを実行している。</li> <li>・手作業で行っていて、品質や味に自信がある。</li> <li>・コーヒー栽培に適した自然条件がそろっている。</li> </ul>	<p>【製品化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・価格が安定する。（価格変動を抑えるため。）</li> <li>・原材料を輸出するより、製品を輸出した方が儲かる。</li> <li>・働く場所が多くなる。→雇用の拡大</li> </ul>	<p>＜④ 少人数追究＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の授業時に編成する3～4人のグループで行う。</li> <li>・資料を指し示しながら話しができるように大きめの資料を準備する。</li> <li>・仲間が理解できるように説明する。</li> <li>・仲間の意見は青ペンで付け足すように促す。</li> </ul>
<p>【歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの植民地だったから、モノカルチャーが根付いている。</li> <li>・ヨーロッパにコーヒーの生豆が安価で輸出しているのに、ヨーロッパからインスタントコーヒーを高価で輸入している。</li> </ul>	<p>【大使の夢】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大統領の思いを実行している。</li> <li>・手作業で行っていて、品質や味に自信がある。</li> <li>・コーヒー栽培に適した自然条件がそろっている。</li> </ul>	<p>【製品化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・価格が安定する。（価格変動を抑えるため。）</li> <li>・原材料を輸出するより、製品を輸出した方が儲かる。</li> <li>・働く場所が多くなる。→雇用の拡大</li> </ul>			
全体 交流 10分	<p>④ グループで交流する。</p> <p>⑤ 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の国で作っているのに、高価なインスタントコーヒーを輸入するよりも、大変な思いをしてまでもインスタントコーヒーの会社を立ち上げて販売する方が良いと考えたんだと思う。</li> <li>・インスタントコーヒーを作ることによって、多くの人が働けるようになって雇用が多くなった。</li> <li>・地元の人々の思いをつまっていた、常に手の行き届いた手入れをしているので、高い品質のコーヒーが生みだされているんだと思う。</li> </ul>	<p>＜⑤ 全体交流＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で追究したことに、少人数で追究したことを加えて発表するよう促す。</li> <li>・傾聴にこだわり、聴くときは筆記用具を持たないように徹底する。</li> <li>・板書する時間を確保して、本時で何を学んだか整理してまとめが書けるようにする。</li> </ul>			
深め 5分	<p>⑥ 深めの発問</p> <p>「自分たちで育てた最高級のコーヒーから作った、最高に美味しいインスタントコーヒーを飲めるようにしましょう」と言った大統領はどんな思いだったのだろう。</p> <p>・自分たちの力で進化していこうとした。 ・国の力を高めようと思った。</p>	<p>＜⑥ 深めの発問＞</p> <p>□ニエレレ大統領の言葉</p> <p>□アフリカフェ（実物）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大統領の強い思いから、国全体が自立に向かっていているという実感をもたせるために、意図的指名をして発表させる。</li> </ul>			
終末 10分	<p>＜まとめ＞</p> <p>⑦ 自分の言葉でまとめ、交流する。</p> <p>タンザニアは、モノカルチャー経済に依存していることから不安定な収入になっている。大統領の思いから、最高級のコーヒー豆を製品化したことで、雇用拡大や経済状態の改善など国が自立に向かって歩もうとしていることが分かった。</p>	<p>＜⑦ まとめ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の言葉でまとめが書けるように十分時間を確保する。</li> </ul> <p>＜評価規準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間との交流を通して、製品化した理由を多面的に考え、自分の言葉でまとめることができている。</li> </ul>			